

ふるさとの思い出を語り合う

10月31日、東京で「くるめつつじ会」の総会と懇親会が開催されました。「つつじ会」は関東地方に住む久留米市ゆかりの人の集まり。市出身や勤務経験などがある120人が参加しました。ふるさと大使で、俳優の藤吉久美子さんとクリエイティブのアントビスコさんが登場すると、大きな拍手が会場では遠く離れたふるさとの思い出を語り合う「ちっご弁」が響きました。



久留米の思い出を語る藤吉さん(右)とアントビスコさん

久留米の食と農を楽しむ

11月11日、12日に久留米百年公園で「第49回ふるさとくるめ農業まつり」が開催されました。久留米産農産物や乳製品、植木や花などの販売のほか、地元グルメも出店。食育コーナーやバター作り体験などもあり、約4万8000人の入場者でにぎわいました。「模擬牛」で初めて搾乳体験をした稲益葉月さん(小郡市)は「力を入れて搾るのが難しかったけれど楽しかった」と笑顔を見せました。



普段経験できない搾乳体験に子どもたちは、「本物の乳搾りみたい」と楽しみました

熱気あふれるみづま祭

11月4日、5日に水沼の里2000年記念の森で「ふるさとみづま祭」が開催され、2日間で約6万5000人が来場しました。初日は歌謡ショーやダンスが、翌日はよさこい28チームが踊りを披露。地元8歳の日本酒飲み比べイベントも同時開催されました。江口亮さん(宮ノ陣町)は「初めて来ました。よさこいは、チームの熱気が伝わって圧倒されます」と話しました。



地元チーム「西牟田げんきもん」が、パワーあふれる踊りを笑顔で披露しました

偏見のない社会を目指して

11月7日、ガールスカウト福岡県第5団に所属する中学2年生3人が市役所を訪問しました。3人は、市男女共同参画動画作成支援事業を活用して動画を制作し、アンケート調査の結果を分析。その取り組みが、全国コンクールで、コミュニケーション賞を受賞しました。瀧内南美さん(西南学院中)は「動画でHIVやエイズを正しく知ってもらい、偏見のない社会になってほしい」と話しました。



受賞した瀧内さん(右から3番目)と丸田茅紘さん(左から3番目、荒木中)、長野倅花さん(久留米信愛中)

久留米産農産物を大阪へ

11月2日、大阪市中央卸売市場で原口新五市長と、森光佐一郎JAくるめ組合長が農産物のトップセールスを行いました。俳優で「くるめ農産物PRアンバサダー」の藤吉久美子さんも加わり、特産のリーフレタスやサラダ菜などを配布。魅力をアピールしました。原口市長は「災害復旧に全力で取り組んでいます。今後も、優れた品質の農産物に関西の皆さまに届けていきたい」と呼び掛けました。



原口市長が、仲買人一人一人に久留米産の農産物を手渡しました

子どもたちと学びで交流

11月12日、えーるピア久留米で子どもフェスティバル「マナビイランド」が開催されました。生涯学習に取り組む市民が、学習の成果を生かし、子どもたちに体験の場を提供したり交流したりすることが目的。約1500人が、絵手紙や茶道など22の体験を楽しみました。外の広場には、ロープで作られた橋を渡るコーナーがあり、子どもたちは目を輝かせてチャレンジしていました。



「LLアドバイザー」に教わりながら、小さな布を使った「つまみ細工」でクリスマスツリーを作りました

市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。



「広報久留米」を多言語で

「広報久留米」を無料アプリ「カタログポケット」で配信しています。英語のほか、韓国、中国(繁体字/簡体字)、タイ、ポルトガル、スペイン、インドネシア、ベトナム各言語に自動翻訳と読み上げもします。

TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビで KBC を視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大 12 項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・ 広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・ インクルージョンの in 久留米 (土) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン(福岡よしもと)

今月の表紙 // 大道芸人が久留米に集結



11月18日、19日に久留米シティプラザなどで「久留米たまがる大道芸 2023」がありました。17組の芸人が会場を盛り上げました。